



欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)

愛称: グラン・マルシェ

好材料を背景に 堅調な推移が続く欧州社債

欧州では2016年以降、政治リスクの高まりが、金融市場での波乱要因として注視されているものの、欧州社債は、域内景気の底堅さなどを背景に、良好なパフォーマンスが続いています。

本資料では、欧州社債市場の動向ならびに見通しについて、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託を運用する日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドの見解をご紹介します。

本資料で
お伝えたい
こと

- ✓ 欧州社債の好パフォーマンスを支える3つの材料
- ✓ 当ファンドの運用の着眼点
- ✓ 為替面からみた当ファンドの魅力

当ファンドのパフォーマンスは、2016年央以降、堅調に推移

基準価額の推移(税引前分配金再投資ベース)
(2014年8月19日(設定日)~2017年4月28日)



ご参考

当ファンドの最終利回り

3.23%

(2017年4月末現在)

※利回りは、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託における個別債券について加重平均したものです。
※最終利回りは、債券を満期まで保有した場合の利回りです。
※利回りは将来得られる期待利回りを示すものではありません。

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の値です。
※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。
※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

本資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ヨーロッパ・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

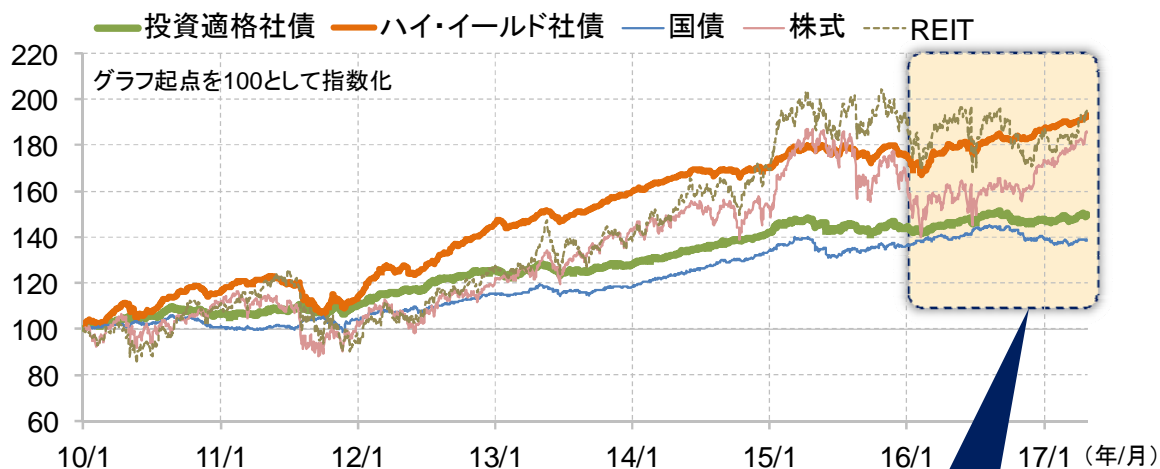
■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

堅調が続く欧州社債のパフォーマンス

- 欧州では近年、ユーロ加盟国の債務問題や、英国で2016年6月に行なわれた国民投票を契機とした政治リスクの高まりなどを背景に、金融市場は価格変動の高い展開が続きました。そうした中でも利回り資産としての強みを持つ欧州社債は、安定的で良好なパフォーマンスを続けてきました。
- この背景として、①底堅い欧州景気、②ECB(欧州中央銀行)による金融緩和、③堅調な企業ファンダメンタルズ、などが考えられ、欧州社債の追い風になっているとみられます。

市場変動が高まるなか、安定的な推移を続けた欧州社債

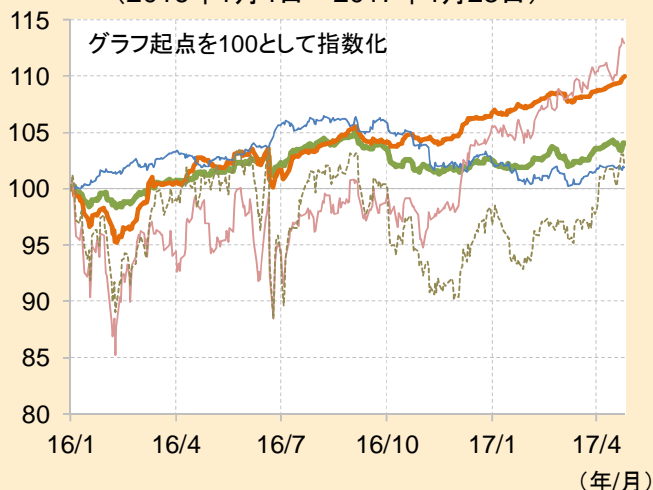
欧州主要資産の推移(ユーロベース)
(2010年1月初～2017年4月28日)



**市場変動が高まった2016年以降、
欧州社債の安定感が際立つ展開に**

<2016年以降の値動き>

(2016年1月4日～2017年4月28日)



- 国債: シティEMU国債インデックス
- 投資適格社債: ブルームバーグ・パークレイズ 汎欧州投資適格社債インデックス
- ハイ・イールド社債: ブルームバーグ・パークレイズ 汎欧州ハイ・イールド社債インデックス
- 株式: ストックス・ヨーロッパ600指数(配当込)
- REIT: S&P REIT欧州指数(配当込)

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)(愛称: グラン・マルシェ)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

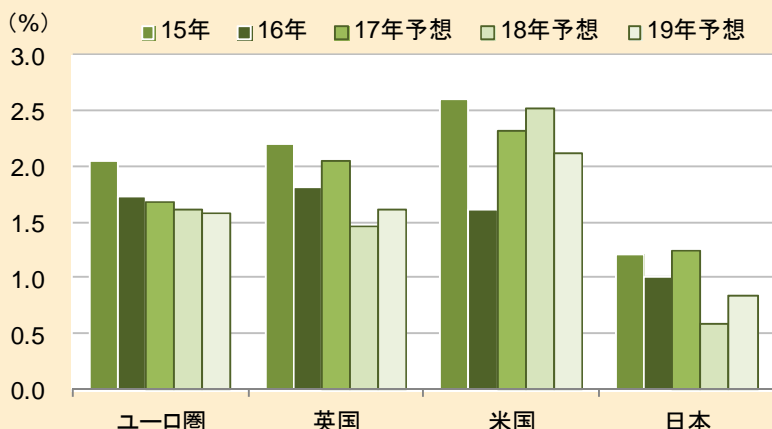
欧州社債
を支える
好材料

① 底堅さが増す欧州景気

- ユーロ圏景気は、底堅い回復を続けており、今後も緩やかで安定的な成長が続く見通しです。足元では、企業の景気動向を示すPMI(購買担当者景気指数)が6年ぶりの高水準となったほか、個人消費にも堅調さがみられ、こうした経済ファンダメンタルズの安定感が、欧州景気を支えていると考えられます。
- 当ファンドの投資対象である欧州社債は、国債と株式の間のリスク特性を持つことから、現在のような緩やかな景気回復局面で選好される傾向にあり、利子収益のみならず、値上がり益の獲得も期待されます。

強すぎず、弱すぎない欧州の経済成長は、社債投資に適した環境

GDP成長率の推移
(2015年～2019年予想)

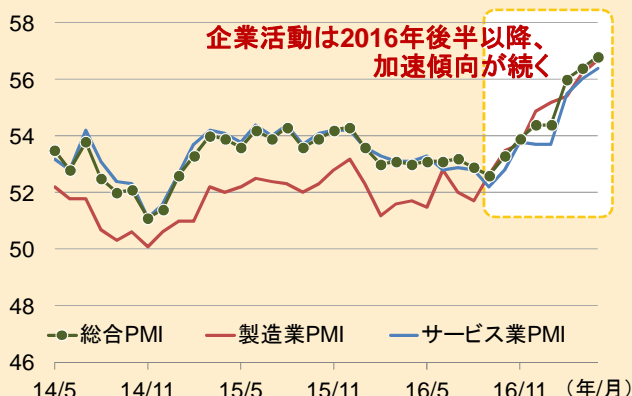


**先進国の中でも
安定的な推移が見込まれる
ユーロ圏経済**

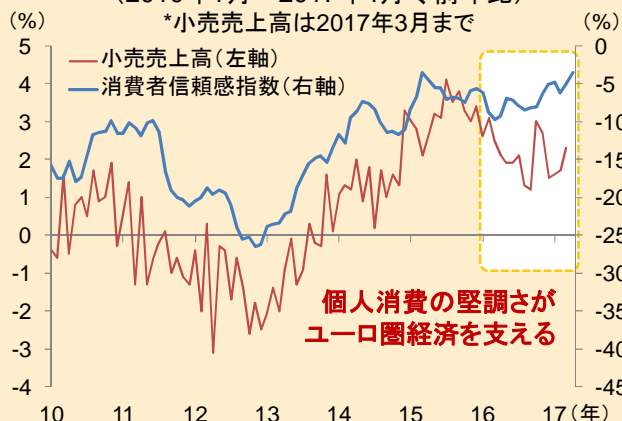
出所：
IMF「World Economic Outlook, April 2017」

欧州の経済ファンダメンタルズは、回復傾向が進む

ユーロ圏PMI(購買担当者景気指数)の推移
(2014年5月～2017年4月)



ユーロ圏の小売売上高と消費者信頼感指数の推移
(2010年1月～2017年4月*、前年比)



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)(愛称: グラン・マルシェ)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

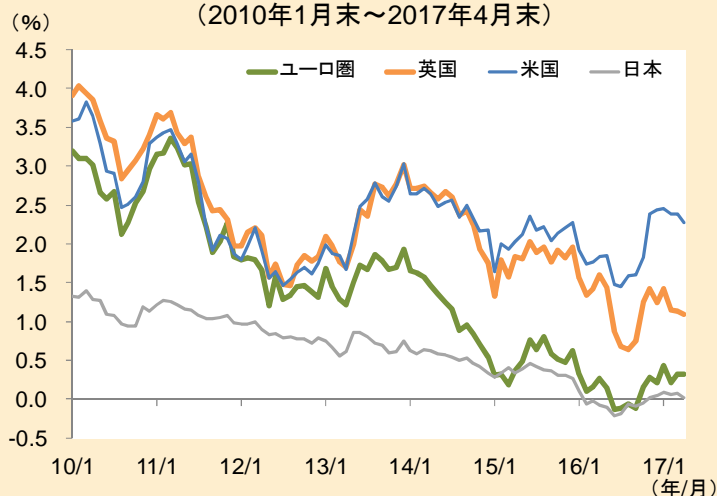
欧州社債
を支える
好材料

② 低金利が見込まれるECBの金融緩和

- 主要先進国の中でも、景気回復がいち早く進む米国では、2015年12月に利上げに転じ、緩やかな利上げ基調に向かっています。一方、ユーロ圏では、ECB(欧州中央銀行)が金融緩和を継続しており、当面、低金利環境が見込まれることは、欧州社債の利回り面での優位性につながると考えられます。
- なおECBは、量的緩和策の一環として、2016年6月には社債購入に踏み切りました。このことは、世界の投資家が欧州社債への関心を高める契機になったと考えられます。

低金利の継続は、欧州社債へプラスに

主要国・地域の10年国債利回りの推移
(2010年1月末～2017年4月末)



<ご参考>

欧州社債の利回り
(2017年4月末現在)

欧州投資適格社債	1.1%
欧州ハイ・イールド社債	3.7%
<ご参考>世界国債	1.0%

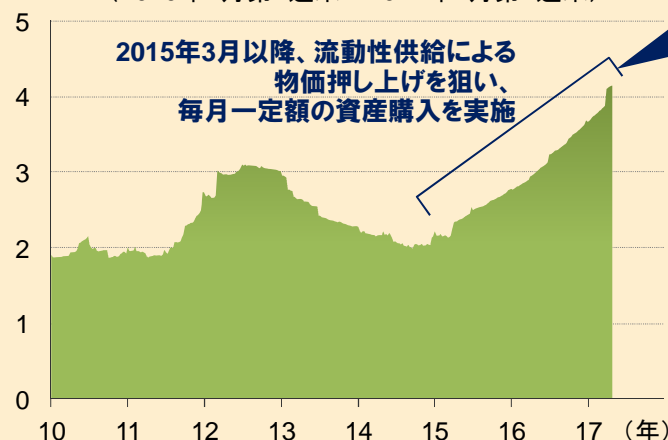
上記は、以下の指数の最終利回りです。

■投資適格社債:ブルームバーグ・バークレイズ汎欧州投資適格社債インデックス ■ハイ・イールド社債:ブルームバーグ・バークレイズ汎欧州ハイ・イールド社債インデックス ■世界国債:シティ世界国債インデックス

欧州社債の関心を高めることとなった、ECBの量的緩和策

ECBの資産規模の推移

(兆ユーロ) (2010年1月第1週末～2017年4月第4週末)



2015年3月以降、流動性供給による
物価押し上げを狙い、
毎月一定額の資産購入を実施

<ECBが量的緩和策で購入対象とする資産>

国債

国際機関債

資産担保証券
など

欧州社債*
(2016年6月より)

*ユーロ建て
投資適格社債



今後も、2017年12月末にかけて、
月額600億ユーロの資産を購入予定

信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

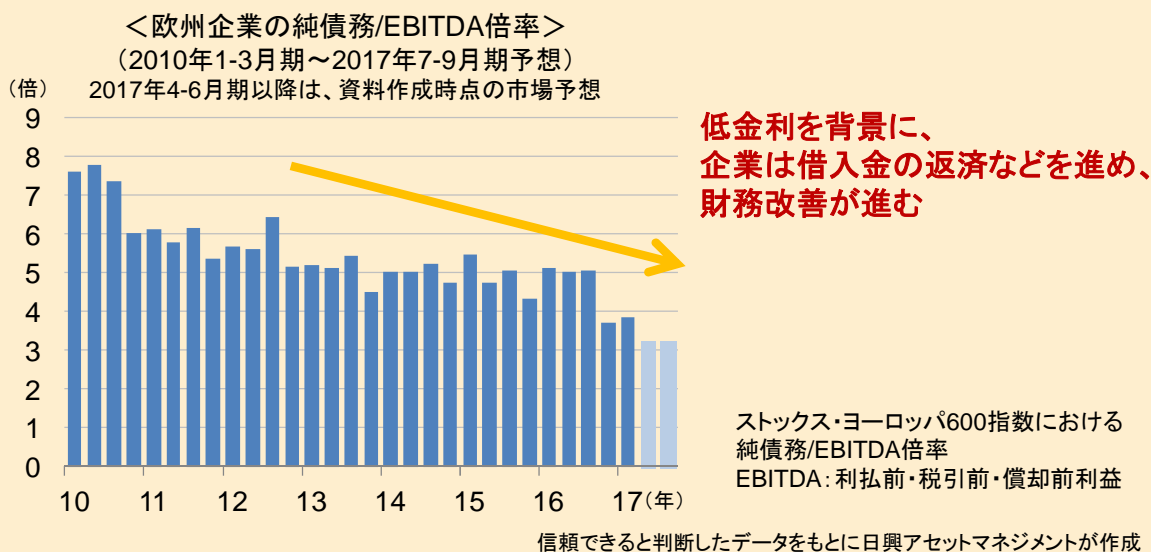
■当資料は、投資者の皆様へ「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)(愛称:グラン・マルシェ)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

欧州社債
を支える
好材料

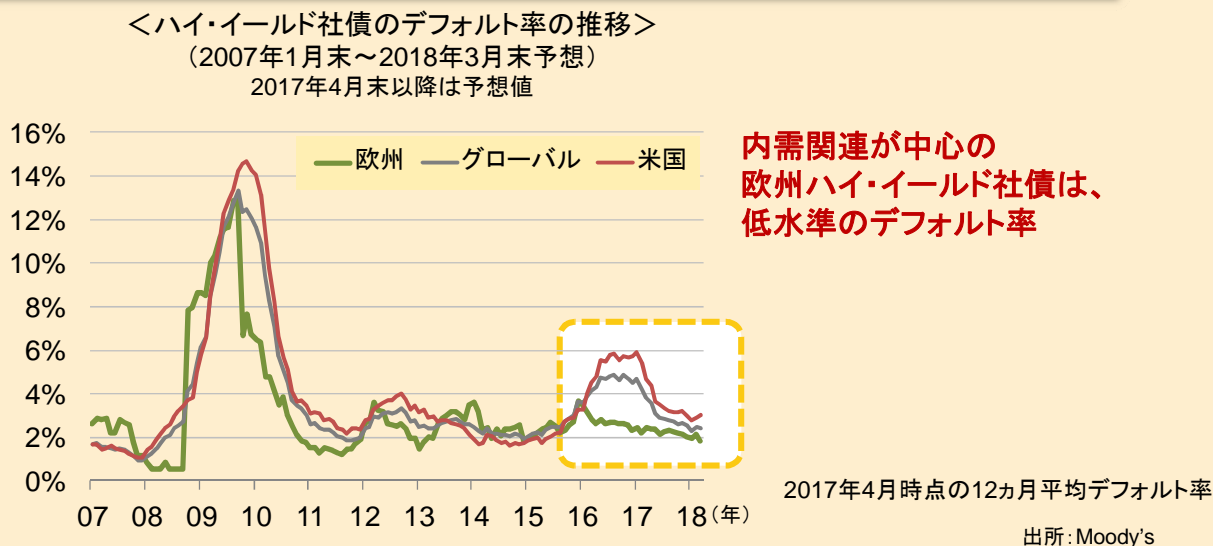
③ 堅調な欧州企業のファンダメンタルズ

- 欧州の緩やかな景気回復は、企業業績の改善傾向につながっています。また、足元の低金利を受け、企業は、手元の借入金について、より低い金利での借り換えなどを進めていることから、財務の健全性が強まっています。
- また、欧州ハイ・イールド社債のデフォルト率は、2016年以降に他地域で上昇基調となった局面でも、低水準に留まっており、信用力の高さは、欧州社債の強みになっていると考えられます。

財務の健全さが際立つ欧州企業



欧州ハイ・イールド社債は、低水準のデフォルト率



※ 上記グラフ・データは過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■ 当資料は、投資者の皆様へ「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし) (愛称: グラン・マルシェ)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

当ファンドの運用の着眼点①

■ 良好な投資環境を受け、ハイ・イールド社債に注目

欧州社債を取り巻く投資環境は、①緩やかな景気回復、②低金利の継続、③欧州企業の業績改善や財務健全性の強まり、という3つの観点から、投資妙味のある状況が続いていると考えています。加えて、足元の低金利を受けた企業の借り換えや資金需要の増加も相俟って、社債発行を積極化させる企業が増えたことは、投資機会の拡大にもつながっていると考えられます。

こうしたなか、投資適格社債は、ECBによる社債買い入れなどもあり、足元でスプレッド(金利差)が縮小し、投資妙味が薄まっているとみられる一方、**BB格などのハイ・イールド社債は、投資適格社債に比べて割高感がみられないことや堅調な経済状況を背景に、魅力が高まっていると考えており、当ファンドでは注目しています。**また、個別銘柄については、「ビジネス面での強み」「キャッシュフロー創出力」「財務健全性」「資金借り入れのレバレッジ」など企業ファンダメンタルズに加え、バリュエーションも考慮して銘柄を見極め、投資を行なっています。

■ 金融セクターは、強い事業基盤と資産を有する保険や銀行が中心

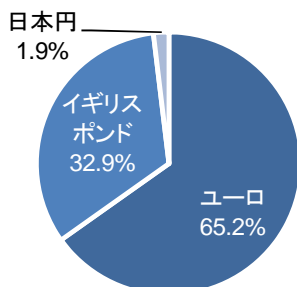
近年、欧州の銀行セクターは、経営不安が懸念されてきましたが、主要銀行の多くは財務の健全化を進め、足元の資本構成は、近年の中でも良好とみられます。今年2月には、イタリア銀行大手が資本増強と収益力向上のために実施した大型増資が無事にまとまるなど、主要銀行に関するネガティブな見方はすでに峠を越え、市場懸念も徐々に後退していくことが期待されます。

なお、当ファンドでは、金融セクターの中では**銀行と保険会社を中心**とし、銀行はやや慎重に、保険はやや積極的なスタンスとしています。また、いずれの分野においても、**それぞれの市場で事業基盤が確立し、強固な資産を有する大手金融機関の社債を中心に、投資**を行なっています。

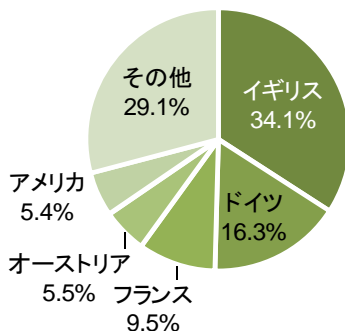
当ファンドのポートフォリオ概況 (2017年4月末現在)

●当ファンドの主要投資対象である外国投資信託における数値です。

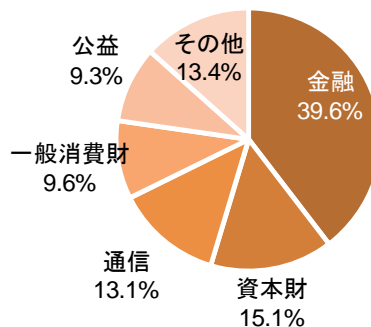
通貨別
構成比率



国別
構成比率



業種別
構成比率



※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。数値は、四捨五入処理により、合計が100%とならない場合があります。

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)(愛称: グラン・マルシェ)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

当ファンドの運用の着眼点②

■ 英国については当面、慎重姿勢とし、影響度が少ない内需関連を選好

当ファンドでは、英国が2016年6月の国民投票でEU(欧州連合)離脱を選択して以降、経済が減速する可能性なども考慮して、英国に対して慎重姿勢とし、英国社債への投資は以前より約1割程度低く抑えています。また、現在保有する英国社債についても、**為替動向に伴う業績変動の影響を受けにくい内需企業を中心としているほか、デュレーション*を短めとすることで、リスクの抑制を図っています。**

*デュレーション: 債券投資の平均回収期間。債券価格の金利感応度を示す指標としても用いられます。

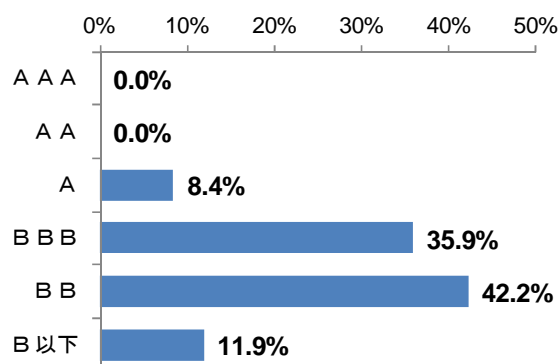
なお、メイ首相は4月中旬に、6月8日の下院総選挙の実施を表明しましたが、その直後には、EUとの離脱交渉が優位に進むと期待され、イギリスポンド高が進むなど、市場では、総選挙実施の決定が好感されたようです。なお、この選挙を受けて、市場の期待通りに秩序あるEU離脱へ向かえば、英国の景気減速の緩和が期待されるとともに、EU経済にとってもポジティブに働くと考えられます。

このほか、北欧については、通貨の流動性が相対的に低く、原油価格の影響を受けやすいことから、北欧通貨は足元で不安定な動きが続いており、北欧通貨建て社債への投資を抑制しています。ただし、投資妙味があると考えられる一部の銘柄については、ユーロ建てで投資を行なうことにより、投資機会の獲得を図っています。

当ファンドのポートフォリオ概況 (2017年4月末現在)

●当ファンドの主要投資対象である外国投資信託における数値です。

格付別構成比率



※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

ポートフォリオの特性値など

- 直接利回り : 5.11%
- 最終利回り : 3.23%
- デュレーション : 4.90年
- 平均格付 : BB

- ※ 平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。
- ※ 利回りは、個別債券について加重平均したものです。
- ※ 最終利回りは、債券を満期まで保有した場合の利回りです。
- ※ 利回りは将来得られる期待利回りを示すものではありません。
- ※ 数値は、四捨五入処理により、合計が100%とならない場合があります。

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)(愛称: グラン・マルシェ)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

為替面から見た当ファンドの魅力

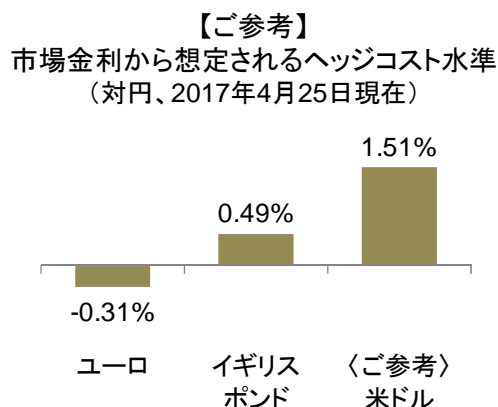
- 当ファンドでは、「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのコースをご用意しており、為替の動向やお客様のリスク許容度に応じて、お選びいただくことが可能です。

■ 低水準のヘッジコストは、魅力的な状況

現在の欧州通貨の為替ヘッジコストは、ユーロ(対円)でマイナス(プレミアム)となるなど、極めて低水準に留まっています。

そのため、為替変動リスクを敬遠されるお客様にとって、**足元の投資環境は、為替ヘッジコストを極めて低水準に抑えながら、欧州社債の投資成果を享受することができるため、魅力的な環境と考えられます。**

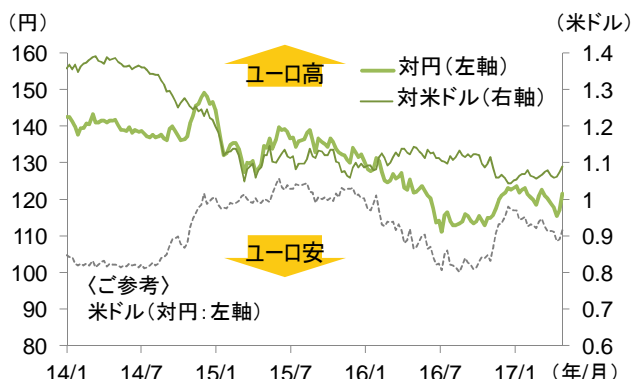
「ヘッジコスト水準」は、各通貨のスポットレートならびに3か月銀行間金利(LIBOR)のフォワードポイントを用いて、日興アセットマネジメントが算出。※本データは、市場での価格水準などをもとに算出されたものであり、取引方法などによっては、実際の為替ヘッジコストの水準とは異なる場合があります。



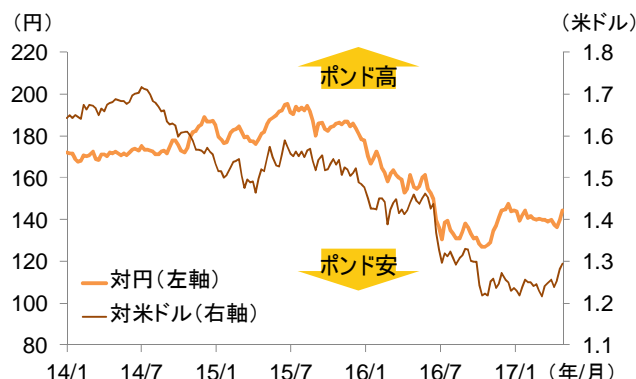
■ 為替差益を期待する場合は、通貨の値動きにも着目

足元で、ECBは現状の金融政策維持の姿勢を示しているものの、欧州景気の底堅さを背景に、市場では早くも、金融政策の正常化に向けた動きが焦点となっています。今後、正常化への期待が高まるような場合には、為替市場では先行してユーロ高(円安)に向かうことも考えられます。

ユーロの推移
(2014年1月第1週末～2017年4月第4週末)



イギリスポンドの推移
(2014年1月第1週末～2017年4月第4週末)



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

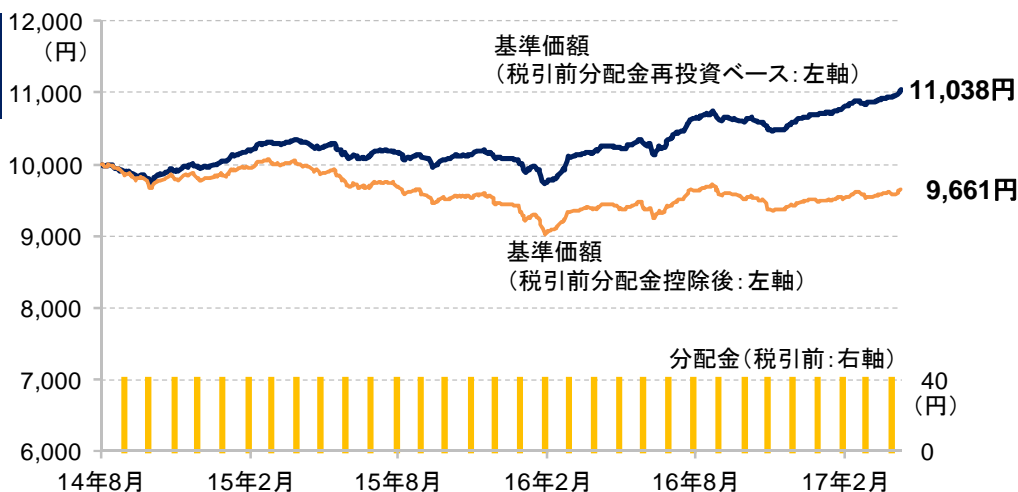
本資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ヨーロッパ・ストラテジック・コーポレート・ボンド・ファンド」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

■ 当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■ 掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

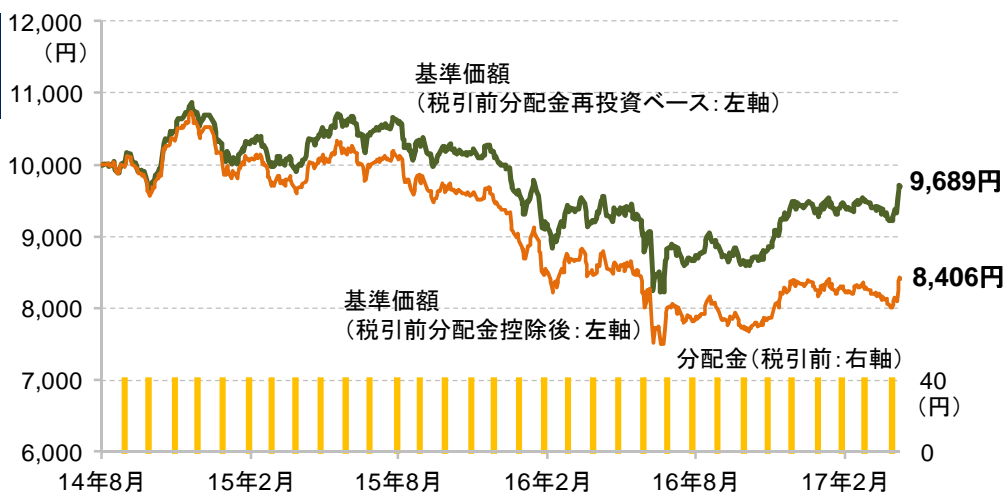
運用実績(2014年8月19日(設定日)~2017年4月28日)

Grand Marche

**Aコース
(為替ヘッジあり)**



**Bコース
(為替ヘッジなし)**



※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金額は税引前の、それぞれ1万口当たりの値です。
 ※基準価額(税引前分配金再投資ベース)は、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

- 1 主として、欧州企業が発行する社債に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざします。
- 2 日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドが運用します。
- 3 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのコースがあります。
- 4 原則として、毎月、収益分配を行なうことをめざします。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

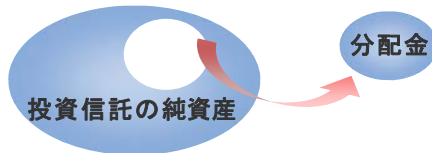
ファンド
の特色

■当資料は、投資者の皆様へ「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)(愛称:グラン・マルシェ)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

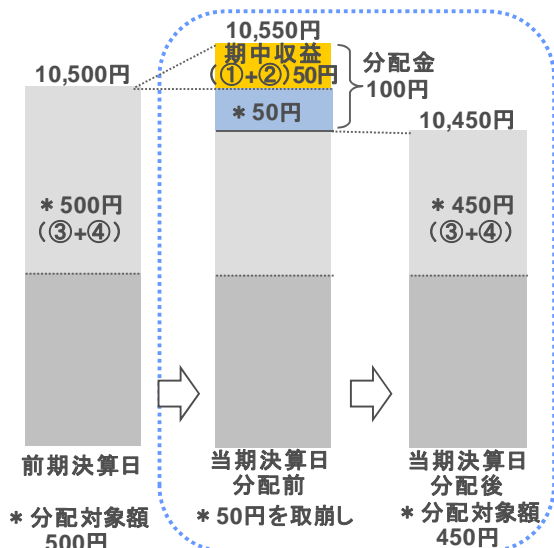
投資信託で分配金が支払われるイメージ



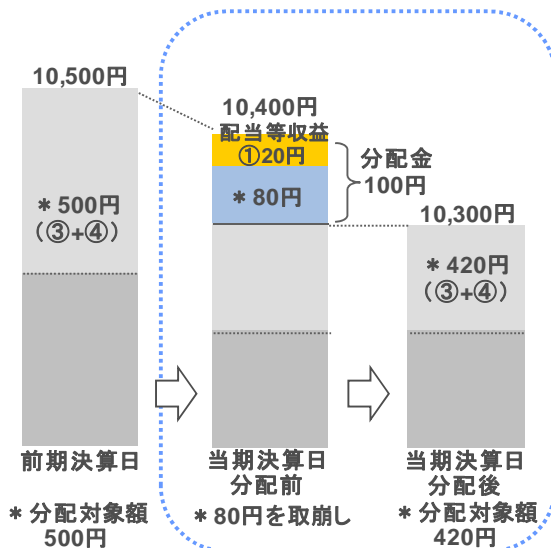
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合

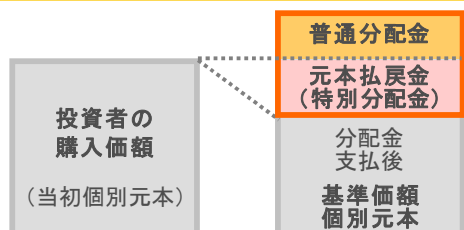


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

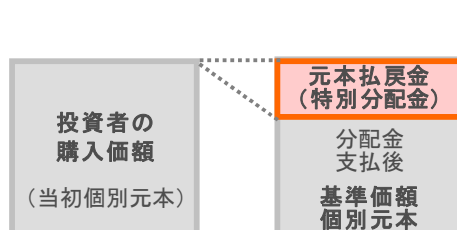
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかつた場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)(愛称:グラン・マルシェ)」へのご理解を高めていただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡します。内容を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社
- 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
[ホームページ] <http://www.nikkoam.com/>
[コールセンター] 0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号	○			
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(資料作成日現在、50音順)

■当資料は、投資者の皆様は「欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)(愛称:グラン・マルシェ)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信／海外／債券
- ご購入単位 : 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 : 購入申込日が英国証券取引所の休業日、フランクフルト証券取引所の休業日、ルクセンブルグの銀行休業日またはロンドンの銀行休業日に当たる場合は、購入のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 2029年5月15日まで(2014年8月19日設定)
- 決算日 : 毎月15日(休業日の場合は翌営業日)
- ご換金不可日 : 換金請求日が英国証券取引所の休業日、フランクフルト証券取引所の休業日、ルクセンブルグの銀行休業日またはロンドンの銀行休業日に当たる場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い:原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- 購入時手数料 : 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、3.24%(税抜3%)を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料 : ありません。
- 信託財産留保額 : ありません。

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.6444%(税抜1.57%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。
信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.0044%(税抜0.93%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.64%程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- その他費用 : 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。
※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。